

昭和十一年八月五日  
公告  
第一〇〇〇號

昭和十一年(一)第五五號

判決

本籍 熊本縣

住居 長崎市

藤田 稔

本籍 長崎市

住居 同市

無 職

裁判用紙

裁判所

岡崎 安太郎

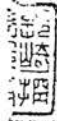
本籍 住居 長崎縣

村上 高 雄

本籍 熊本縣

住居 長崎市

無 職



藤田吉孝

本籍 長崎市

住居 長崎市

三ノ木

岡崎雪野

本籍 京都府

住居 長崎市

裁判用紙

裁判所

中田丈太郎

本籍 長崎縣

住居 長崎市

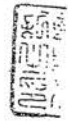
岡崎春吉

原田春吉

本籍、長崎縣

甲 高知縣





住居 長崎市

松 島 章 二

右國外移送誘拐被告事件ニ付昭和十一年二月十四日長崎地方  
裁判所ニ於テ宣告シタル有罪判決ニ對シ被告人等ヨリ控訴ノ  
申立アリタルヲ以テ當院ハ檢事後藤英橋關與審理ノ上判決ス  
ルコト左ノ如シ

主 文

被告人藤岡種、岡崎安太郎、村上富雄ヲ各懲役二年六月ニ

裁判用紙

裁判所

被告人藤岡種、岡崎安太郎、村上富雄ニ、昭和十一年六月ニ  
從二年ニ、被告人藤岡春吉ヲ懲役一年六月ニ處ス  
被告人村上富雄、岡崎安太郎、松島章二ニ對シテハ夫々原審  
ニ於ケル未決勾留日數中六十日ヲ右本刑ニ算入ス  
被告人藤岡春吉ニ對シテハ本裁判確定ノ日ヨリ三年間右刑  
ノ執行ヲ猶豫ス

長崎地方裁判所



運 商

被告人材上高維ハ昭和五年十一月頃ヨリ中華民國上海ニ於テ  
 其ノ雇入ニ係ル婦女ヲシテ同艦駐屯ノ帝國海軍軍人ヲ顧客ト  
 シ職業ニ從事セシメ居タルトコロ昭和七年一月廣西上海事變  
 ノ勃發ニ因リ多數帝國海軍軍人ノ駐屯ヲ見ルニ至リタルヲ以  
 テ海軍指定難安所ナル名籍ノ下ニ從來ノ營業ヲ擴張セシコト  
 ヲ欲シ豫テ知會ノ亡程原伊直ニ該運商ヲ告テ同人ノ紹介ニ依  
 リ同年五月廿九日頃上海文陸江星旅館ニ於テ被告入藤田徳、  
 岡崎安太郎ノ兩名ニ面談シ右ノ企圖ヲ説ク之ヲ贊同ヲ得茲ニ





被告人宮雄ニ於テ家庭其ノ他ノ設備ヲ提供シ伊吉及被告人松  
 ノ兩名ニ於テ該營業所ニ於テ職業ニ従事スヘキ日本婦女ヲ日  
 本内地ニ於テ雇入レ移送スルコトヲ適當シ被告人安太郎ニ於  
 テ之カ雇入資金ヲ提供スルコトヲ約スルト共ニ婦女雇入ニ際  
 シテハ其ノ専ラ職業ニ従事スルモノナルコトノ情ヲ秘シ單ニ  
 女給又ハ女中トシテ雇フモノノ如ク欺罔シ勸說誘惑シテ上海  
 ニ移送セムコトヲ謀議シ伊吉ニ於テモ直ニ之ニ賛同スルト共  
 ニ安太郎等ノ旨ヲ受ケテ其ノ頃長崎市ニ於ケル被告人安太郎  
 ノ妻ナル被告人岡崎雪野ニ右ノ協議内容ヲ通知シテ婦女ノ雇  
 入方ヲ求メ被告人雪野ハ其ノ旨ヲ被告人松ノ妻ナル被告人藤  
 田ニ及被告人中田丈太郎ノ兩名ニ通スルト共ニ被告人松キ  
 トノ間ニハ之カ實行ヲ兩名ニ於テ分擔スヘキ旨ノ協議ヲ達ケ  
 次テ被告人丈太郎トノ間ニハ安太郎等ノ協議セル前記方法ニ  
 基キ婦女ヲ雇入ルヘキコトヲ謀議シ居タルカ更ニ同月十四日  
 被告人安太郎ニ於テ長崎市ニ歸來スルヤ直ニ同市内ナル同人  
 方ニ西田五三郎及被告人ニキヲ招致シ同人等並ニ被告人雪野  
 ニ對シ前般上海ニ於ケル協議ノ結果ヲ告ケテ婦女移送方ヲ促  
 シ同人等モ之ニ賛同ノ上被告人雪野ニ於テハ同年三月下旬頃  
 被告人原田春吉、原審相被告人上田虎壽及虎壽ヲ介シテ原審  
 相被告人川田市之助ノ三名ニ、五三郎及被告人ニキニ於テハ

裁判用紙

裁判所

昭和十一年五月

同月十四日頃被告人松島章二ニ夫々安太郎等ノ協議セル前記  
方法ニ依リ婦女ヲ誘拐シテ上海ナル前示慰安所ニ移送セムコ  
トヲ請リタルトコロ被告人春吉、章二及原春相被告人虎海、  
市之助ハ執レモ之ニ賛同シ

第一 被告人松、安太郎、寛雄、雪野及之キノ五名ハ伊吉ト  
共謀ノ上（以下事實ヲ判示スルニ當リテ右被告人五名及  
伊吉ヲ單ニ被告人松等六名ト略稱ス）

(一) 被告人雪野ニ於テ同年四月初頃長崎市内ナル同人方ニ  
於テ 二對シ行先ハ兵隊相手ノ食堂ナル旨虚言  
ヲ構ヘ且風儀等ニ依リ收入一ケ月ニ三百圓位アル旨甘言

裁判用紙

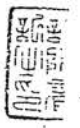
裁判所

ヲ弄シテ上海行ヲ勸メ同女ヲシテ其ノ旨誤信セシメテ之  
ヲ誘惑シ

(二) 被告人ミキニ於テ前同日頃同市 ナル被告人章二

方ニ於テ 二對シ勤口ハ食堂ノ女給ニシテ客ヲ  
取ル要ナキ旨詐言ヲ構ヘ且百五十圓位ヲ前借スルモ三  
ケ月ニテ完済シ得尙毎月五十圓位親許ニ送金シ得ヘキ旨  
甘言ヲ以テ上海行ヲ勧誘シ同女ヲシテ其ノ旨誤信セシメ  
テ誘惑シ

第三 被告人松等六名及西田五三郎ハ共謀ノ上五三郎ニ於テ  
同年五月初頃長崎縣北高來郡 方ニ於



刑一字

テ同人ニ對シ一年居レハ内地ノ三年乃至五年分ノ償アル  
 故ニ女ナカノヲ上海駐屯帝國軍隊ノ酒保ノ如キ所ノ賣子  
 トシテ奉公セシメテハ如何トノ趣旨ノ許旨竝ニ甘言ヲ榜  
 ヘ同人ヨリ之ヲ聞知セル  
 ヲシテ其ノ旨誤信セ  
 シメテ同女ヲ誘惑シ

第三 被告入社等六名竝ニ被告人文太郎ハ其誰ノ上文太郎ニ  
 於テ

(一) 同年三月十二日 監長崎縣警署 警務課

有及被告入  
 ノ同居居宅ニ於テ  
 ニ對シ上海  
 ノ料理屋ニ女給及ハ女傭トシテ奉公スルニ於テハ多額ノ

裁判用紙

裁判所

收入アリ且容取リヲ爲スノ要ナキニ依リ次女  
 ニ奉公ニ遣リテハ如何トノ旨ノ許旨及許旨ヲ弄シ  
 ヲリ之ヲ聞知セル  
 ヲシテ其ノ旨誤信セシ  
 價セシメテ同女ヲ誘惑シ



(二) 前岡日置前岡所ニ於テ

シ前岡様申向ケテ右兩名ヲ誤信セシメ之ヲ誘惑シ

(三) 同年四月初頭長崎市

テ同女ニ對シ一ヶ月七十圓位ノ收入アルニ依リ上海ニ行  
 キ同地ノ海軍駐安所ニ於テ「カフエト」ノ女給又ハ侍屋  
 ノ如キ仕事ヲ爲シテハ如何ト甘言竝ニ許旨ヲ榜ヘ同女ヲ





シテ其ノ旨誤信セシメ之ヲ誘惑シ

第四 被告人等六名並ニ被告人春吉ハ共謀ノ上春吉ニ於テ

同年四月初頃兩市 方ニ於テ同女ニ對シ

行先ハ海軍駐安所ニシテ水兵或ハ士官等相手ノ一カフエ

一ニナルカ收入ハ一ヶ月セ入十圓ニ過シ一年位居リ家ヲ

造リタル人モアル故上海ニ行キテハ如何ト詐言甘言ヲ

以テ誘ヒ同女ヲシテ其ノ旨誤信セシメテ之ヲ惑ハシ

第五 被告人等六名並ニ原審相被告人上野成壽、廣野市之

助ハ共謀ノ上成壽及市之助ノ兩名ニ於テ前同旨頃

(一) 長崎縣產高森郡 方ニ於テ同女ニ對

裁判用紙 裁判所

シ多額ノ收入アル食堂ノ飯場方トシテ世話をスルニ依リ上

海ニ行キテハ如何ト詐言甘言ヲ構ヘ且被告人等野ニ

於テモ其ノ頃長崎市內ナル同被告人方ニ於テ 二對シ

成壽等ト同様ノ事ヲ申向ケ同女ヲ誤信セシメテ之ヲ誘惑

シ

(二) 同 一方ニ於テ同女ニ對シ行先ハ兵隊相手ノ

食堂ナルモ一日ニ視鏡一ニ圓ノ收入アル故上海ニ行キテ

ハ如何ト詐言甘言ニ甘言ヲ構ヘ同女ヲシテ其ノ旨誤信セシ

メテ之ヲ誘惑シ

第六 被告人等六名並ニ原審相被告人成壽ハ共謀ノ上成壽



ニ於テ前同目頃

(一) 同郡

方ニ於テ同女ニ對シ上海ノ

任出屋ノ女中奉公ヲ爲サ八月二十五日ノ收入アル故上海

ニ行キテハ如何ト許言故ニ廿百ヲ以テ同女ヲ誘ヒ同女ヲ

シテ其ノ旨誤信セシメテ之ヲ惑ハシ

(二) 同

方ニ於テ同人ニ對シ内地ニ於ケル給料ノ

二三倍ノ收入アル故同女 ヲ上海ノ「カフエー」ノ

女中トシテ奉公セシメテハ如何ト許言故ニ廿百ヲ得ヘ同

人ヨリ之ヲ聞知セル ヲシテ之ヲ眞實ナリト信セシ

メ同女ヲ誘惑シ

裁判用紙

裁判所

第七 被告人名等 大森 茲ニ被告人名二ハ西岡五三郎ト共謀ノ

上巻ニニ於テ

(一) 同年三月末頃長崎市

ナル被告人名二方ニ於テ

ニ對シ上海ニ於ケル海軍駐安所ノ女中トシテ同地

ニ行キテハ如何、給料ハ月四圓ナルモ誤信ニ依ル收入

ハ五六十圓ニ達スル旨許言故ニ廿百ヲ得ヘ同女ヲシテ其

ノ旨誤信セシメテ之ヲ誘惑シ

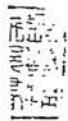
(二) 其ノ事情ヲ知リタル

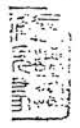
方ニ於テ同市

同人方ニ於テ

ニ對シ前同様申向ケシメ同女ヲシ

テ其ノ旨誤信セシメテ之ヲ誘惑シ





(甲) 同年四月朔日 被告 人 等 二 方 二 於 二 對 二 海 軍

士 官 相 手 ノ 飲 食 店 ノ 女 中 ト シ テ 上 海 ニ 行 キ テ ハ 如 何 五 十

圓 位 ノ 前 借 ヲ 爲 ス モ 一 週 間 エ テ 重 ニ 返 済 シ 得 ヘ キ 旨 許 買

及 甘 言 ヲ 以 テ 同 女 ヲ 誘 ヒ 同 女 ヲ シ テ 其 ノ 旨 願 償 セ シ メ テ

之 ヲ 感 ハ シ

因 テ 執 レ モ 上 海 行 ヲ 承 諾 セ シ メ タ ル 結 果

(イ) 同 年 三 月 十 四 日 長 港 出 帆 ノ 上 海 丸 ニ

等 三 名 ヲ

(ロ) 同 年 四 月 一 日 同 港 出 帆 ノ 長 崎 丸 ニ

(ハ) 同 月 八 日 同 港 出 帆 ノ 龍 運 汽 船 ニ

裁判用紙

裁判所

等 七 名 ヲ

(ニ) 同 月 十 二 日 同 港 出 帆 ノ 淺 間 丸 ニ

等 三 名 ヲ

(ホ) 同 年 五 月 六 日 同 港 出 帆 ノ 上 海 丸 ニ

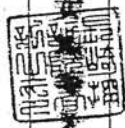
順 次 乗 船 セ シ メ テ 之 ヲ 誘 拐 シ タ ル 上 各 其 ノ 翌 日 同 女 等 ヲ 執

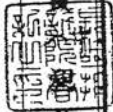
レ モ 順 次 上 海 ニ 上 陸 セ シ メ 以 テ 同 女 等 ヲ 帝 國 外 ニ 移 送 シ

タ ル モ ノ ナリ

而 シ テ 被 告 人 春 吉 ヲ 除 ク 其 ノ 餘 ノ 被 告 人 等 ノ 所 爲 ハ 犯 意 繼 續

ニ 係 ル モ ノ ト ス





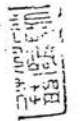
證據ヲ案スルニ右事實  
判示冒頭記載ノ點致ニ判示第一乃至第七記載ノ如ク各共謀關  
係ノ成立シタル點ハ

一、 被告人村上富雄ノ當公廷ニ於ケル私ハ昭和五年十一月頃  
ヨリ申華民國上海北區興路志安屋九號ニ於テ海軍指定休  
憩所ナル名稱ノ下ニ營業所ヲ構ヘ女中トシテ雇ヒタル婦  
女ヲシテ同地遊習ノ日本海軍軍人ヲ顧客トシ醜業ヲ爲サ  
シメ居リシカ昭和七年一月下旬上海事變ノ勃發ニ依リ其  
ノ營業ハ一時中絶ノ姿ト爲リタリ然ルニ同年三月停戰協  
定ノ成立ニ依リ同地ノ物價平穩ト爲リ再從前ノ營業ニ從

裁判用紙

裁判所

事ヲ居タルトコロ帝國軍隊方多數同地ニ駐屯スル情勢ト  
爲リシ爲雇女ニ不足ヲ生シ之ヲ増員セキハナラヌト考ヘ  
右營業所ノ名稱ヲ同年五月頃海軍指定慰安所ト改メタリ  
右ノ如ク營業所ノ婦女ヲ多數雇入ルル必要ヲ生シタル結  
果同年三月五日期頃 方ニ資金ヲ五千圓ヲ借入ル  
ル爲赴キタルトコロ國家ニ於テ梶原伊吉ニ會ヒ知會ニ爲  
リタル方同月七日頃伊吉ヨリ同人ノ伯父岡崎安太郎方  
江星旅館ニ居ル故來ヲ吳レトノ通知ヲ受ケ江星旅館ニ行  
キ伊吉ヨリ岡崎安太郎、藤田君ヲ紹介サレ安太郎ヨリ私  
ノ營業ノ内容ヲ訊ネラレタルニ依リ私ハ營業ノ内情、經



過故ニ現状、利益ノ分配方法等ヲ話シタル旨ノ記載

三 原告第二回公判調書中同被告人ノ供述トシテ（記録三二〇六丁裏以下）昭和七年三月七八日頃上海文路江星旅館ニ於テ私ト藤田稔、梶原伊吉、岡崎安太郎等ヲ會合シ私カ營業ノ内情、經過故ニ現状等ヲ話シ且多數日本軍隊ノ駐屯期間カ向フ一々年位ト思ヘル故自分ノ營業ヲ擴張シ共同ニテ多數ノ女ヲ雇ヒ半年位遣レハ儲カルト思フ旨私ノ希望ヲ申シタルトコロ集リ居タル人々モ其レニ賛成シ結局私カ營業所ヲ提供シテ女十五人預リ其ノ女遣ノ玉代等分シテ女ニ半分給へ殘リ半分ヨリ實費ヲ差引キタ

裁判用紙

裁判所

ルモノヲ私ト梶原、藤田ニテ平等ニ分配スルコト而シテ女ノ雇入ハ藤田、梶原等ノ方ニテ受持ツト買ア奉ニ爲リタリ岡崎安太郎ハ伊吉ノ伯父ニシテ伊吉ヨリ同人ハ數十萬圓ノ資産家ナルコトヲ聞キ居タル爲同人カ金ヲ出スモノナリト想像シ居リタル旨ノ記載

三 同調書中被告人岡崎安太郎ノ供述トシテ（記録三二〇六丁裏以下）私ハ甥ノ梶原伊吉ヨリ村上カ慰安所ヲ出ス様ニ爲ル故金ヲ出シテ吳レト申サレ其ノ後昭和七年三月七八日頃江星旅館ニ於テ伊吉ノ紹介ニテ村上富雄、藤田稔、梶原伊吉等ト會見シ村上ヨリ同人ノ營業ノ内情、經過故



加削  
二  
字字

七三

ニ現狀等ノ説明ヲ聞キ伊吉ヨリ三千元出シテ吳レト書  
ハレ私ハ村上ノ申ス趣旨ニ賛成シ其ノ位ノ金ナラハ出サ  
ウト申シタル旨ノ記載

四 同調査中被告人藤田、藤原ノ供述トシテ（記録七八一五丁以  
下）判示ノ日頃判示  於テ村上ヨリ以前同人ハ海軍

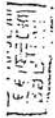
指定体認所ヲ設ケ居タルハ上海奉天ノ爲營業カ一時中止  
ト爲リタルモ停戰協定ノ成立ニ依リ帝國軍隊ノ多數上海  
ニ駐屯スルナラント言フ事等ノ話カ有リ更ニ同人ハ海軍  
指定体認所ノ名稱ヲ海軍指定駐安所ト改メ營業ヲ復活シ  
擴張シテ遂リ庶キ故實成シテ吳レトノ趣旨ノ相談カアリ

### 裁判用紙

### 裁判所

私ハ賛成シ村上、梶原ト共同シテ經營スルコトニシ岡崎  
カ資金ヲ出ス事ニ話カ成立シタル旨ノ記載

五 被告人村上、高橋ニ對スル第二回及第三回豫審訊問調査ヲ  
通シ同被告人ノ供述トシテ（記録七八〇丁以下）海軍指  
定駐安所ヲ共同經營ニスルト言フ契約ハ私ト藤田、梶  
原伊吉ノ三名間ニ結ハレタルモノナルカ岡崎安太郎ハ共  
同經營者トシテ右契約ニ依リ藤田、梶原ノ兩名カ得ヘキ  
利益ヲ更ニ三分シテ其ノ一ヲ得ルコトニ爲リ居ルト言フ  
事ヲ後ニ爲リ開知シタリ（記録八〇九丁以下）私ハ在星  
旅館ニ於テ藤田、梶原、岡崎ノ三名ニ會ヒタルトキ海軍





指定慰安所ハ軍人相手ニ賣淫ヲ爲ス事ヲ主タル目的トス  
ル所ニテ其處ニ雇ハルル女ハ賣淫ヲセネハナラヌ事即チ  
其レヲセヌ女ハ雇入レヌト言フ事ハ充分話シ置キタル故  
藤田、岡崎、堀原ノ三名ハ充分承知シ居タル筈ナリシ旨  
ノ記載

六 證人 ニ對スル第一回豫審訊問調査中其ノ供述ト  
シテ（記録一、三七一丁裏以下）村上富雄カ江屋旅館ニ藤  
田、岡崎等ヲ訪レ在三名ニ於テ海軍指定慰安所ノ共同經  
營ニ付テノ話ヲ爲シ居タルカ其ノ話ノ模様ニテ私ハ同題  
安所カ海軍軍人ヲ相手ニ婦女ヲシテ賣淫ヲ爲サシムル事

裁判用紙

裁判所

ヲ營業トスル所ナルコトヲ知りタル旨ノ記載

七 證人ニ對スル第二回豫審訊問調査中其ノ供述トシテ（  
記録一、三九九丁裏以下）村上、藤田、岡崎等カ江屋旅館  
ニ於テ海軍指定慰安所ノ話ヲ爲シ居タル時村上ハ同屋安  
所ノ女ヲ内地ニ於テ雇フ時ハ女ニハ離業ニ從事セネハナ  
ラヌ事ハ言ハスニ女給トシテ雇入レヤダト言フ意味ノ話  
ヲ爲シ藤田、岡崎カ其レニ同意シテ居リタリ私ハ女給ト  
シテ女ヲ雇入レ内地ノ女準同様ノ事ヲサセル積リカサト  
思ヒタル旨ノ記載

八 證人 ニ對スル豫審訊問調査中其ノ供述トシテ（



記録八四三丁以下)私ハ村上、梶原、藤岡等ト上海エテ  
 海軍指定慰安所ヲ共同經營スル契約ヲ爲シタルカ村上ヨ  
 リ女ハ幾ラテモ送リ還ルトノ話ヲ聞キ居タル故其ノ際村  
 上ニ女カ左様ニ爲キト手ニ入ルカト訊ネタルニ同人ハ岡  
 崎ヤ藤田カスル事デアリ女ハ何程ヲモ手ニ入ルト申シタ  
 リ更ニ私カ女ハ如何様ニシテ連レテ來ルカト訊ネタルト  
 コロ同人ハ女給トカ女中トカ言フ事ニシテ連レテ來レハ  
 譯ハナイテハナイカト申シタル旨ノ記載

九 被告人間崎安太郎ニ對スル第一回豫審訊問書中其ノ供  
 述トシテ(記録一三三九丁裏以下)私ハ藤岡等ト共ニ昭

裁判用紙

裁判所

和七年三月三十一日頃上海ニ行キ岡崎ノ江屋旅館ニ於テ村  
 上富雄、梶原伊吉、藤岡等ト海軍指定慰安俱樂部(慰  
 安所トハ聞カス)ノ經營ニ付テノ話カアリ私カ梶原ノ依  
 頼ニ依リ女雇入レニ必要ナル資金トシテ五千元圖出資ス  
 ルコトニ爲リタリ其ノ際村上カ女ハ女中トシテ雇フカ良  
 イト申シタル様記憶ス、私カ出資ヲ承諾シタル爲一ハ  
 私ノ妻ユキノニ又藤岡ハ自宅ニ夫々手紙ヲ出シ私カ出資  
 ヲ承諾シタル旨ヲ通シ女雇入ノ手配ヲ頼ミタルカ私カ上  
 海ヨリ歸ル際即チ昭和七年三月十三日頃藤岡、  
 兩名カ私ニ内地ヨリ女ヲ雇ヒ送ル様依頼シタルニ依リ私



1921年11月10日

七四

加割 二字

1921年11月10日

ハ長崎ニ歸リ私方ニ西田五三郎、藤田ノ妻ニキリ呼ヒ私  
 ノ妻ユキノモ居ル所ニテ此度梶原、藤田ノ兩名カ上海在  
 任ノ村上富雄ト共同ニテ海軍指定慰安俱樂部ヲ經營スル  
 コトニ爲リ右慰安俱樂部ハ内地ノ女郎屋ト同様ノ事ヲス  
 ルモノナル事ヲ話シ同所ニ送ル女ヲ世話シテ呉レト申シ  
 タリ其ノ際私ハ女ヲ雇フニハ女中トシテ雇フ様エト申シ  
 タルカ右ハ女ヲ雇フ際淫賣トシテ上海ニ行ク事ヲ勸メル  
 事ハ百ヒ難キ事ト考ヘ且女中トシテ雇フ方カ人ヲ集メ易  
 シト考ヘタル爲ナル旨ノ記載

大 被告人間崎雪野ニ對スル第二回審判調書中其ノ供述

裁判用紙

裁判所

トシテ(記)ニ八四下以下(梶原伊吉カ安太郎ト共  
 ニ上海ニ行キテ後伊吉ヨリ手紙ニテ通信カ下リ自分ハ藤  
 田、村上ト共同ニテ海軍指定俱樂部ヲ經營スルコトニ爲  
 リ安太郎カ金ヲ出スコトヲ承諾シタル故女ヲ雇フテ送テ  
 レ度々女雇入ニ付テハ中國丈太郎ニモ依頼ノ手紙ヲ出シ  
 置クニ依リ中國ニ世話サセテ呉レト申來リタリ同日中國  
 丈太郎カ私方ニ來テ伊吉ヨリ同人ニモ手紙カ寫テ私ニ對  
 スル手紙ト同趣旨ノ記載アリ海軍指定慰安俱樂部ト言フ  
 ハ女ニ客ヲ取ラセル所ナル旨記載アリタリト丈太郎カ申  
 シ居タリ其ノ後主人安太郎カ上海ヨリ歸リ私方ニ於テ西



第五三郎

第五三郎、藤田ミキニ對シ慰安所ハ軍人ヲ相手ニ專ラ賣  
淫ヲ爲ス所ナル旨詳シテ話シタリ而シテ梶原伊吉ヨリ私  
ニ手紙カ來タ翌日カ翌々日頃伊吉ヨリ電報ニテ來ル十五  
日迄ニ女ヲ送り呉レトノ趣旨ヲ申シ來リタル故直ニ中園  
丈太郎ヲ私方ニ呼ビ同人ト女雇入レノ方法ニ就キ協議シ  
タル旨ノ記載

其 岡被告人ニ對スル第三回豫審訊問調書中其ノ供述トシテ  
(記録一、六一一丁裏以下)私ハ梶原ヨリ電報ノ來リタル  
後中園ト女雇入ノ相談シタルカ其ノ際私ト中園ハ客ヲ取  
ル酌辯トシテ雇入ヘ何千圓モ出サネハナラヌ故女給トシ

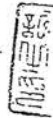
裁判用紙

裁判所

テ雇ヘハ安ク濟ムト語會ヒ女給トシテ雇入ル事ニ決メ  
タル旨ノ記載

其 被告人中園丈太郎ニ對スル第二回豫審訊問調書中其ノ供  
述トシテ(記録一、五八五丁裏以下)梶原伊吉カ上海ヨリ  
私ニ寄越シタル手紙ニハ女給又ハ仲居トシテ雇フテ呉レ  
トノ趣旨カ記載シアリタルカ私ハ女ニハ淫賣セシムルモ  
ノト思ヒ手紙ヲ見テ直ニ岡崎ユキノ方ニ行キ伊吉ヨリノ  
手紙ノ趣旨ヲ話シタルトコロ岡女ハ私ヨリ詳シク上海ノ  
事ヲ知り居リタル故岡女ユモ伊吉ヨリ手紙カ來テ居ルモ  
ノト思ヒタリ其ノ後伊吉ヨリユキノニ宛テ電報カ來タト

第五三郎



改一字

七六



ノ事エテ同女ニ招カレ同女方ニ行キタルニ同女ハ私ニ對シ今度ノ船ニ聞ニ合フ様女ヲ送ラキハナチテ又該女ヲ學員ニ雇フテ吳レ女ヲ雇フニハ女給又ハ仲居トシテ雇フテ吳レト命令的ニ申シタリ其ノ辭ユキノハ女ニハ夏温ノ事ハ言ハスニ雇フテ吳レトハ申ササリシモ私ハ同人ノ口吻ヨリシテ女ニハ夏温ノ事ハ打明ケスニ女給又ハ仲居トシテ雇フテ吳レト言フ意味ニ解シタル旨ノ記載

被告人藤田ニキユ對スル第一回豫審訊問證書中其ノ供述トシテ(記録一頁〇九丁裏以下)主人藤田移カ上海へ行キ前同船ヨリ歸リタル藤原伊吉方私方ニ來テ移ト何カ斷

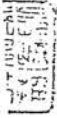
裁判用紙

裁判所

シテ歸リ其ノ後ニテ移カ上海ニ於テ海軍慰安所ヲ經營スレハ儲カルソウナト申シ居タルカ移カ上海ニ向テ出發ス

三日後私ニ宛テ手紙ヲ寄越シ後ニ電報カ着イタナラハ直ニ松島章ニ世話ヲサセ女ヲ雇フテ送ル様申來リタルニ依リ私ハ其ノ手紙ヲ松島章ニ示シタルトコロ松島ハ女ヲ世話スルコトヲ承諾シ同同人ハ客ヲ取ル女ヲテント申シタル故松島ハ手紙ニ在ル女カ淫賣婦ナルコトハ承知シ居タルモノト思ヒタリ其ノ後岡崎安太郎ノ妻ユカレ同人方ニ行キタルトコロユキノハ上海ノ安太郎ヨリ手紙カ來テ上海ニ於テ村上カ經營シ居タル海軍慰安所ト

改一字



甲 高知縣



改 一字

七七

百ノ淫賣屋ヲ此處安太郎、梶原伊吉及松ノ三名カ共同シ  
 テ經營スルコトニ爲リタル由故女ヲ送テネハナリヌニ依  
 リ自分ノ方ニテモ女ヲ雇フ故貴殿ノ方モ出陣ルルカ世斷  
 シテ呉レ金ハ自分ノ方ニテ立替ヘ置テ尙女ヲ雇フニ容リ  
 取ラセル事ヲ斷セハ金カ高ク掛ル故其ノ事ハ言ハヌニ女  
 給トシテ雇フコトニ任樣ト話シタルヲ以テ其ノ様ニシテ  
 女ヲ雇入ルル事ニシ私ハ直ニ松島幸二方ニ行キ同人ニ女  
 給トシテ雇入ラ願ミタリ同人ハ<sup>三三三三</sup>松島幸二ノ淫賣屋ノ願聞  
 ノ如キ事ヲ爲シ雇リ金ヲ高ク掛ケヌニ雇フテ遣ルト申シ  
 居タル旨ノ記載

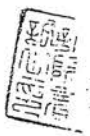
裁判用紙

裁判所

同被告人ニ對スル第二回審判開審中其ノ供述トシテ  
 (記録一四五六頁以下) 同被告安太郎カ歸國後私ト西岡  
 五三郎ト方同人方ニ招カレ安太郎ヨリ女ニ賣淫ノ事ヲ打  
 聽ケテ雇ヘハ百圓ノ所ハ二百圓掛ル故女給トシテ雇入レ  
 様ト言ハレタル際私ハ左様ニシマセウト答ヘタルカ右ノ  
 語ヲ聞キ其ノ事ハ私ノ主人給ト相談シテ棄テタルモノト  
 思ヒタリ而シテ其ノ日松島幸二ニ女雇入レ方ヲ願ミタル  
 旨ノ記載

或 證人西岡五三郎ニ對スル檢察官詢問審中其ノ供述トシテ  
 (記録一六八八頁以下) 同被告安太郎カ上海ヨリ歸リタ





ル時私ト藤田ミキトカ呼ハレテ行キ安太郎ハ私トミキト  
 ニ對シ安太郎ノ妻ユキノノ居ル所ニ於テ自分ハ藤田ミキト  
 共同ニテ帝國軍人ヲ相手トシ婦女ニ賣淫セシムル海軍慰  
 安所ヲ經營スルコトニ爲リ同所ニ女ヲ送ラネハナラヌ故  
 世話シテ吳レ女ニハ慰安所ノ接待掛ノ女給トシテ雇フト  
 言ヒ賣淫ノ事ハ言ハヌカ良イト申シタリ私ハ賣淫ヲ爲ス  
 酌婦トシテ雇ヘハ金モ掛リ又希望者モ少キ故安太郎カ右  
 ノ様ニ申シタルモノト考ヘ且同人カ賣淫ノ事ハ女ニハ打  
 明ケヌカ良イト申シタルハ同人獨リノ考メテハ無ク上海  
 ニ於テ藤田等ト左様ニ相識シタル事ナラヘシト察シ私ハ

裁判用紙

裁判所

左様ニスルト返事シテ同人方ヲ辭シ藤田方エ行キタルト  
 コロ松島章ニ方居合ヌタルニ依リ同人エ岡崎安太郎ノ申  
 シタル通り傳ヘタルトコロ松島ハソシテ雇ハキハ上  
 海送ユハ女カ直ク行クト言ハヌト申シ私モ松島モ藤田ノ  
 爲女ヲ世話シテ送ルコトニシタル旨ノ記載

夫 被告人岡崎（原田）春吉ニ對スル第一回豫審訊問調書中  
 其ノ供述トシテ（記録九一〇丁以下）私ハ岡崎安太郎ノ  
 甥ナルカ昭和七年三月半頃藤田ノ息子ト岡崎ノ息子トカ  
 上海見物ニ行ク際岡崎ユキノノ依頼ニ依リ上海ノ海軍慰  
 安所ニ行ク女三人ヲ一船ノ船ニテ連レテ上海ニ行キタル



旨ノ記載

五 被告人岡崎ユキノニ對スル第六回豫審訊問調査中被告人岡崎（原田）春吉ノ供述トシテ（記録三一九一丁以下）私ハ藤田、岡崎ノ息子二人ヲ連れて上海ニ行キ岡崎ニ滞在  
 中岡崎ユキノヲ旅館ニ訪レタル際岡人ヨリ海軍慰安所カ  
 客取り賣淫ヲ爲サシムル所ナル事ヲ知りタリ私カ  
 〃世話シタルハ其ノ後ノ事ナル旨ノ記載

六 被告人岡崎（原田）春吉ニ對スル第三回豫審訊問調査中  
 其ノ供述トシテ（記録三七八一丁裏以下）私ハ藤田及岡  
 崎ノ息子二人ヲ連れて上海ニ行キタル時岡崎ノ海軍慰安所

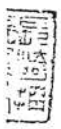
裁判用紙

裁判所

ハ村上富雄カ營業主ニシテ藤田、梶原兩名ハ同所ニ婦女  
 ヲ入レテ醜業扇營業ヲ爲ス所ナルコト及岡崎安太郎ハ藤  
 田、梶原ノ婦女雇入ノ資金ヲ出シ居ルモノナルコトヲ知  
 リタリ又私ハ上海ニテ岡崎ユキノニ會ヒタル際自分カ

一〃世話シツワアル事ヲ語シタルトコロユキノハ  
 本人カ行クト言ヘハ雇フテモ良イト申シタル旨ノ記載

大 原審相被告人上田虎壽ニ對スル第二回及第三回豫審訊問  
 調査ヲ通シ其ノ供述トシテ（記録九五三丁裏以下）私ハ  
 岡崎ユキノノ招電ニ依リ岡人方ニ行キタルトコロ岡人ハ  
 上海カ中々ノ景氣故女ヲ上海ニ遣リ料理屋カ淫賣屋ヲシ



テ女ヲ働カセ様ト思フ故女ヲ世話シテ呉レト申シ又周田  
 市之助ノ妹ノ縁付先ニ娘カ居ルト言フ話ヲ聞キ居ル故周  
 人ニモ話シテ呉レト申シタリ（一六四七丁以下）其ノ際  
 ユキノハ私ニ 及同 以外ノ女ヲ雇フ際ハ上  
 海ニ行キ女郎ノ如キ事ヲセネハナラヌト言ヘハ嫌フ者モ  
 アル故左様ナ事ハ言ハスニ上海カ景氣故行キテハ如何ト  
 申向ケテ勧誘シ呉レト申シタル旨ノ記載

モ 原告相被告人周田市之助ニ對スル第一回豫審訊問調査中  
 其ノ供述トシテ（記録九三五丁以下）昭和七年春頃上國  
 虎森カ私ニ對シ周田ユキノヨリ上海ノ料理屋ニテ客取り

裁判用紙

裁判所

スル女ノ雇入方ヲ疑ハレタル故豫審中被告ト申シタル  
 五依リ私ハ之ヲ承諾シタリ虎森ハ  
 ヲ世話スル際ニハ客取りヲセネハナラヌ事ハ言ハヌカ處  
 イト申シタルニ依リ其ノ事ハ話サザリシ旨ノ記載

ヲ綜合シテ之ヲ認メ  
 外十四名ノ婦女カ判示ノ日長崎港出帆ノ判示船舶ニ  
 乗船シ各其ノ翌日上海ニ上陸シタル點ハ

一 被告人周田ユキノ及周田市之助太郎ノ各當公証ニ於ケル  
 二 關シ被告入藤田ユキノ當  
 公証ニ於ケル  
 三 關シ其

ノ旨ノ供述

三 風審第一回公判調書中被告人岡崎安太郎、村上富雄、藤田益ノ各供述トシテ（記録三、一四五丁以下）判示問題旨ノ記載

ニ依リテ之ヲ認め

判示第一ノ爾餘ノ點ハ

一 証人 二對スル第一回豫審訊問調書中其ノ供述トシテ（記録一、一九七丁以下）私ハ昭和七年四月初頭上海ノ事ニ付中田玄太郎ノ妻ニ訊ネタルトコヨ岡崎ノ家へ行ケトノ事ニテ岡崎方エ行キタルニ岡崎ノ妻ハ私ノ雇ハ

裁判用紙

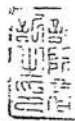
裁判所

レ行ク先ハ上海ノ夫キテ合堂ニテ兵隊ノ遊ヒニ來ル所テアリ「テツブ」モ多ク外ニ品物ノ賣上金ノ歩合モ貰ヘル故月ニ三百圓儲カルニ依リ行ツテ見ヨト申シタルヲ以テ私ハ其レヲ信シ上海へ行ク氣ニ爲リタリ其ノ時上海ニテ賣淫行爲ヲセネハナテヌト言フ話ハナク又借金ハ賣淫ノ稼高ニテ支拂フ等約束シタルコトナシ從テ賣淫ヲセネハナテヌ事カ判レハ上海ニ行カヌ筈ナリ然ルニ上海ニ行キタルトコロ其處ハ賣淫専業ノ所ナリシ爲私ハ全ク欺キレテ上海ニ送ラレタルコトヲ覺知シタル旨ノ記載

証人

ニ對スル第一回豫審訊問調書中其ノ供述

昭和七年四月



トシテ（記録一七〇六丁裏以下）昭和七年閏月初頃私ノ  
 父カ私ニ對シ藤田方ヨリ上海ノ食堂ノ支給ニ才前ヲ遣フ  
 テ吳レトノ相談カアリ月ニ五六十圓位ノ金借方アルト言  
 フ事ト申シタリ其ノ後藤田方長崎市ノ松島章  
 二方ニ於テ藤田ノ妻ニ會ヒタルトキ同女ハ上海ノ勸先ハ  
 食堂ニテ支給ヲ爲シ客取リスル必要ナク若シ難ナレハ直  
 ニ歸國シテモ良イ上海ハ好景氣ニテ百五十圓ノ前借金ハ  
 三ヶ月エテ揃ヘ親ニハ毎月五十圓位宛ノ送金方出来ル  
 散行ツテ吳レト申シタルカ實況ノ斷ハ全然無ク前述ノ如  
 ク奪取ル要ナシトノ話ナリ又爲實況ハセヌモノト信シテ  
 承取シ上海ニ行キタルトコロ其處ハ海軍軍人ヲ相手ニ專  
 ヲ賣淫ヲ爲ス所ナリ故私ハ初メテ藤田ノ妻ニ欺キレテ  
 上海ニ送ラレタルコトヲ知リタル旨ノ記載  
 ニ依リテ之ヲ認メ

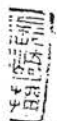
裁判用紙

裁判所

判示第二ノ爾餘ノ點ハ

一、證人西田五三郎ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ  
 （記録一七〇〇丁裏以下）私ハ

對シ今度藤田、岡崎ノ兩名カ上海ニ於テ海軍駐在所ヲ經  
 營スルコトニ爲リ其處ニ支給カ必要ニテ借方ル由故娘ヲ  
 遣リテハ如何ト申シテ難メタルニ翌日一







同伴シ上海行ヲ承諾シタリ私ハ右兩名ニ上海ニ行ケハ備  
カルト話シタルモ上海ニ行ケハ賣淫セネハナラヌ事ハ爾  
ハサリシヲ以テナカノハ單ニ慰安所ノ女給ト考ヘテ雇ハ  
レ行キタルモノト思フ旨ノ記載

証人

ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ

(記録三〇三六丁裏以下)

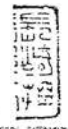
ハ私ノ次女ナルカ

昭和七年五月頃西田五三郎カ私方ニ來テ藤岡カ上海ニ於  
テ軍隊ノ娛樂場ノ如キモノヲ始メ其處ハ酒ヤビールヲ賣  
ル軍隊ノ酒保ノ如キ所ニテ内地ノ女子居テ其處ノ賣  
子ノ如キ仕事ヲ爲ス者トシテ娘サカノヲ遣リテハ如何ハ

裁判用紙

裁判所

酒ヤビールカ高ク賣レ其ノ價ノ都合ヲ吳レ内地ノ三年分  
ヤ五年分ハ一年ヲ儲カルト申シタル故娘サカノニ其ノ話  
ノ趣旨ヲ傳ヘタルトコロ娘ハ上海行ヲ承諾シタリ西田ハ  
上海ニ於テ娘カ職業ニ従事セネハナラヌ事ヲ一言モ言ハ  
サリシタメ私モ 在様ナ事ハ知ラス若シ職業セシ  
メラルル事ヲ知ラハ價カ二十圓位ヲ賣ル娘ヲ上海迄遣ル  
様ナ事ハ爲サヌ又娘サ行カサリシ筈ナリ然ルニ昭和八年  
三三月頃娘 ハ歸國シ上海ニ於テハ内地ニテノ話ト  
異リ容取リヲセシメラレ辛カリシ旨申シタル旨ノ記載  
ヲ綜合シテ之ヲ認メ



判示第三ノ爾餘ノ點ハ

一、被告人中田丈太郎ニ對スル第一回豫審訊問調査中其ノ供述トシテ（記録八八八丁以下）私ハ昭和七年三月十一、二日頃長崎市外

以下同シ一方ニ行キ同人ニ對シ今度上海ニ海軍慰安所ト稱スル大キナ料理屋方出來ル故娘ヲ上海ニ遣ラヌカト申シタルトコロ同人ハ

前同様話シタルニ兩名共娘ニ相談スルト申シタリ其ノ後ノ兩名共娘ノ

裁判用紙

裁判所

ルトコロ兩名共上海行ヲ承諾シ又

様上海ニ遣ル事ニ話カ決マリタリ私ハ

ノ兩名ニハ上海ニ行キ送賣スルト言フ事ハ言ハヌ女給又ハ仲居ノ如キ仕事ヲセネハナラヌト申シテ勸誘シタルモノナル旨ノ記載

証人 ニ對スル豫審訊問調査中其ノ供述トシテ

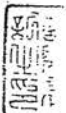
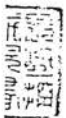
（記録一、八二七丁裏以下）

ハ私ノ次女ナルカ昭和七年三月頃中田丈太郎カ私方

ニ來テ上海ニ良キ働キ口カアルカ貴殿ノ娘屋

娘ハ行カヌカト申シタルニヨリ

ヲ私方ニ招キ訊



SECRET

改一字

八五

SECRET

レモ娘ニ訊ネタル上返事ヲ爲スコトトシタルニ丈太郎ハ  
 佐世係ニ居ル娘　ヲモ一緒ニ遣リテハ如何ト申シタリ  
 其ノ後私ト助八トハ私ノ娘　ト助八ノ娘　トヲ中田  
 方ニ同伴シタルトコロ同人ハ娘等ニモ前同様ノ趣旨ノ話  
 ヲ爲シ上海行ヲ勸メタルトコロ兩名共上海行ヲ承諾シタ  
 リ最初中田ハ上海ニ於ケル良キ働キ口トハ岡崎ノ經營セ  
 ル海軍ノ俱樂部ノ如キ所ニテ酒ヤ着ヲ運フ仕事ニテ同所  
 ハ客ヲ取ラスル所ニ非<sup>（印）</sup>ニ三百圓ノ收入アリト申シ  
 タリ其ノ後岡崎ノ妻ニ會ヒタルカ岡崎ヨリモ客取リノ話  
 ハ聞カス　ニ對シテハ私カ中田ヨリ聞キ悉ク通リ話シ

裁判用紙

裁判所

タルトコロ岡崎ハ客取ヲモセヌ左様ニ金儲ノ有ル所ナリ  
 ハ行タト申シ上海行ヲ承諾シタリ私モ娘兩名モ中國カ客  
 取リスル所ニテハ無ク心配セヌテモ良イト申シテ勸メタ  
 ル故其レヲ信シ娘二人ヲ上海ニ遣ル氣ニ爲リ娘等モ其レ  
 ヲ信シテ上海行ヲ承諾シタルモノニシテ若シ客取リ商賣  
 ヲセネハナラヌ事カ判明シ居ラハ僅カ四百圓餘ヲ娘二人  
 分ノ前借金トシテ借受ケ上海迄遣ル筈ナカリシモノナリ  
 然ルニ其ノ後娘　カ歸國シ内地ノ話トハ相違シ上海ニ  
 テ客取リ商賣ヲサセテタリト申シタル旨ノ記載  
 三 證人　ニ對スル豫審訊問書中其ノ供述トシテ（

甲 高知縣



記録一八一三丁裏以下

ハ私ノ衣食ナル方昭和

七年五月頃

方ニ於テ中田丈太郎ニ面會シタル

時同人ハ岡崎カ上海ニ於テ飲食店ノ如キモノヲ經營シ其

カ必要ナルカ上海ハ景氣好ク金儲カ出來ル故娘ヲ遣テ又

カト百ヲ趣旨ノ事ヲ申シタリ私ハ水商賣ヲスル所ナラハ

道ヲスト答ヘタルトコロ同人ハ水商賣ヲスル所ナラハ

女中ノ如キ仕事ヲ爲スモノナル旨申シタルニ依リ娘ノ意

見ヲ聞キタルニ上海行ヲ承諾シタリ私モ娘モ客ヲ取

ル本商賣ヲサセテ所ト備テ上海行ヲ承諾シタルモノニ

シテ若シ賣渡ヲセバハサテモ事ヲ判明スレハ私モ

裁判用紙

裁判所

上海行ヲ承諾スル旨ナシ然ルニカ上海ニ行キタル後

私ニ寄越シタル手紙ニハ内地ニ於ケル語トハ違ヒ客取リヲ

爲サネハナラヌト書キアリタル旨ノ記載

四、被告人中田丈太郎ニ對スル第一回豫審訊問調書中其ノ供

述トシテ（記録九〇三丁裏以下）私ハ

テ同人ノ娘

ナラヌ事ハ言ハス勤メ先ハ

エー」ノ女給又ハ仲居ノ如キ仕事ヲ爲ス所ニテ收入ハ月

七八十圓位ト申シタル旨ノ記載

五、證人

ニ對スル囑託ニ依ル領事ノ訊問調書中其ノ供

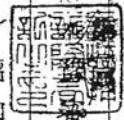


述トシテ（記録一五一六丁裏以下）私ハ  
 ト稱シタルカ昭和七年四月初頭中田丈太郎方私  
 方ニ來テ上海ハ戰爭後景氣良ク月收七十圓位アル田地ノ  
 料理屋ノ女中ニ爲ラヌカト申シ上海行ヲ勸メタル故私ハ  
 其レヲ信シ上海行ヲ承諾シタリ田地ニ於テ醜業ニ從事セ  
 ネハナラヌ事ハ全然聞カス若シ之ヲ知り居レハ上海行ヲ  
 承諾セサル筈ナリシ旨ノ記載  
 ヲ綜合シテ之ヲ認メ  
 判示第四ノ爾餘ノ點ハ

裁判用紙

裁判所

一、被告人岡崎（原因）春吉ニ對スル第三回豫審訊問調書中  
 其ノ供述トシテ（記録二七八四丁裏以下）私ハ  
 ノ兄ニ妹ヲ上海ノ慰安所ニ遣ラヌカ月何十圓カノ收入  
 カアルト申シ勸メ更ニ上海ニ行キ海軍慰安所ノ内情ヲ知  
 リ歸國後 及同人ノ父ニ會ヒ上海行ヲ勸メタルトコ  
 ロ承諾ヲ得タリ 等ニ上海行ヲ勸メタル時慰安所ニ  
 行ケハ醜業ヲセネハナラヌ事ハ言ハサリシ旨ノ記載  
 二、證人 二對スル訊問調書中其ノ供述トシテ  
 （記録一、二一七丁以下）昭和七年四月初頭岡崎春吉カ私  
 方ニ來テ私ヤ私ノ父ニ對シ上海ニ行ケハ月弍八十圓ノ收  
 入アル故行キテハ如何若シ行キタル上都合惡ケレハ何時



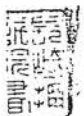


歸國シテモ差支ナシト申シ尙行先ハ上海ノ海軍慰安所ナ  
 ルカ其處ハ「カフエー」ニシテ水兵ヤ士官等ノ飲食スル  
 所ナリ而シテ仕事ハ客ノ相手ヲ爲シ品物ヲ運フ等ナリ一  
 年位居リ家ヲ造リタル者モアルト申シタル故私モ父モ之  
 ヲ信用シ上海行ヲ承諾シタルカ春吉ヨリモ亦岡崎安太郎  
 ノ妻ヨリモ賣淫ヲ爲サネハナラヌ事ハ聞カス若シ醜業セ  
 ネハナラヌ事カ判明シ居レハ上海ニハ行カザリシ筈ナリ  
 然ルニ上海ニ行キ賣淫ニ從事セシメラレタル旨ノ記載  
 ヲ綜合シテ之ヲ認め  
 判示第五ノ爾餘ノ點ハ

裁判用紙

裁判所

一、原告相被告人上原虎毒ニ對スル第六回豫審訊問調書中其  
 ノ供述トシテ（記録ニセ六七頁以下）私ハ周田市之助  
 ト共ニ 及 方ニ行キ上海行ヲ勸メタル  
 カ其ノ際上海ニ行キ醜業ニ從事スルモノナルコトハ告ケ  
 ス ニハ帳場ニ世話スルト申シ ニハ女中ニ世話  
 スルト申シタル旨ノ記載  
 二、原告相被告人川田市之助ニ對スル第一回豫審訊問調書中  
 其ノ供述トシテ（記録九三三三丁裏以下）私ハ上田虎毒ト  
 共ニ 方ニ於テ同人及其ノ母ニ對シ上海ニ行ケ  
 ハ金儲カアル故行カヌカ行先ハ 力經營セル料



理屋ニシテ女中カ又ハ女給ナリト申シテ上海行ヲ勸メタルカ淫賣ヲセネハナラヌ事ハ告ケス次テ同日ニ行キ同女ニ對シ前同様申シテ上海行ヲ勸誘シタルニ同女ハ賣淫スルコトハ欲セヌト申シタル故私ト上田ハ帳場ニ世話スルト申シタル處同女ハ上海行ヲ承諾シタル旨ノ記載

三 證人 ...ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ（記録三四六〇丁裏以下）昭和七年三月二十四日頃川田市之助、上田處壽外一名カ數回ノ私方ニ來テ上海ニ行ケハ金儲カアリ行先ハ上海ノ兵隊相手ノ食堂ニテ

裁判用紙

裁判所

收入ハ一日ニ「チップ」ガ二圓アル旨申シ上海行ヲ勸メタル故私ハ單ニ兵隊相手ノ給仕カ酒ノ酌僅スレハ良キ事ト思ヒ承諾シタルカ賣淫スル事ハ想像タニセス若シ其ノ事カ判明シ居レハ上海行ハ絶對ニ承諾セザリシ筈ナリシトコロ上海ニ行キタルニ賣淫ヲセネハナラヌ事ヲ知り驚キ騙サレタリト思ヒタルモ迷ケ歸ルニハ旅費モ無ク仕方ナク醜業ニ従事シタル旨ノ記載

四 證人 ...ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ（記録一七八一丁以下）川田市之助及姓不詳處壽ト言フ人カ私方ニ參リ私ノ妹ハ家政女學校ヲ卒業シ居ル故上





海ノ食堂トカ「カフエー」トカノ帳場ニ世話スルカ行カ  
 ヌカ非常ニ金儲ニ爲ルト申シタルモ、ハ女學校ヲ出テ  
 許リノ事故斷リタルニ同女ハ私ノ不在中無斷ニテ上海ヘ  
 行キタル旨ノ記載

五

証人 ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ（記

録一七五五丁裏以下）私ハ ト結婚スル前ハ 姓

ヲ稱シ居タルカ昭和七年四月初頃川田雨之助外一名カ私  
 方ニ三四回參リ長崎ノ岡崎カ上海ニ於テ食堂ノ如キモノヲ  
 經營シ居リ帳場カ入用ナルカ内地ヨリモ收入多キ故行カ  
 ヌカト申シ上海行ヲ勸メタルニ依リ兄ノ母ノ同意ヲ得ス

裁判用紙

裁判所

承諾シタリ其ノ後岡崎ニキノ方ニ行キタル際同人モ帳場  
 カ不足シ居ル故上海ニ行キ呉レト申シタルモ賣淫スルト  
 ノ話ハ全然聞カス然ルニ上海ニ行キタルトコロ岡崎ニテ  
 ハ専ラ醜業ニ從事スル事ヲ知り又藤田益手ヲ醜業ニ從事  
 スルコトヲ勸メテレタルモ拒絕シタル旨ノ記載

ヲ綜合シテ之ヲ認メ

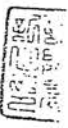
判示第六ノ爾餘ノ點ハ

一 原審相被告人上田虎壽ニ對スル第六回豫審訊問調書中其  
 ノ供述トシテ（記録一七六八丁裏以下）私ハ

等ヲ世話シタル際同女等ニ對シ上海ニ行キ客







取ヲセネハナラヌ事ハ首ケス女中ニ世話スルト申向ケタル旨ノ記載

三 證人 一、ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ

(記録三二三四丁裏以下) ハ私ノ長女ナルカ

上田虎壽カ自分ノ煙カ上海ニ於テ「カアエー」ヲシテ居リ戰後ニテ忙シキ故娘ヲ女中ニ遣フテ呉レヌカト申シタル故女中ノ仕事ヲ爲サシムルモノト信シ娘モ承諾ノ上上海ニ遣リタルト云コ其ノ後娘ヨリ手紙ニテ上海ニ行キ滬賣ヲ爲サシメテ居ルト知ラセテ來リタルニ依リ私ハ直ニ手ヲ遣フテ娘ヲ内地ニ呼戻シタル旨ノ記載

裁判用紙 裁判所

三 證人 二對スル囑託ニ依ル領事ノ訊問調書中其ノ

供述トシテ(記録三二三四丁裏以下)私ハ戸籍上

ナルモ トモ稱シ居タリ昭和七年四月初頃上田

虎壽カ私方ニ來テ上海ノ住出屋ノ女中奉公ヲ爲サハ月三三十圓ノ收入アリト申シ上海行ヲ勸メタル故私ハ之ヲ承諾シ上海ニ參リタルカ上田モ岡崎ユキノモ上海ニテ賣淫ヲ爲ストノ事ハ首ハヌ若シ其ノ事カ判明シ居ラハ上海ニ來ル旨ニアラサリシ旨ノ記載

四 證人 二對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ(

記録三二三四丁裏以下) ハ私ノ四女ニシテ昭

ヲ綜合シテ之ヲ認メ

裁判用紙

裁判所

判示第七ノ附録ノ點ハ

和十年三月中死去シタルカ昭和七年四月頃上田虎壽カ私  
 方ニ参リ娘ヲ上海ニ於テ同人ノ姪婿ノ經營スル「カフエ  
 ー」ノ女給ニ遣ラヌカ内地ニ於テ女中奉公スルヨリ三  
 倍ノ給料カ貰ヘルト申シタル故私ハ娘 ト相談シタ  
 ル上私モ モ女中奉公ナリト信シテ上海行ヲ承諾シ  
 タルトコロ カ上海ニ行キテ後手紙ニハ内地ニ於ケ  
 ル話トハ相違シ淫賣ヲセシメラレ新様ナ事ナレハ來ル筈  
 ニハアヲサリシ旨申來リタリ私モ淫賣サセラルル事カ判  
 明シ居レハ娘ヲ上海ニハ遣ラサリシ筈ナル旨ノ記載

一 原告第二回公判調書中被告入松島章二ノ供述トシテ（記  
 録一三八八丁以下）私ハ ノ世話ニテ上海ノ海

軍指定慰安所ニ送ル爲 等ヲ抱ヘルコ

トニ爲シタル旨ノ記載

二 證人 ニ對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ

（記録一八六〇丁以下）昭和七年三月頃松島章二カ私方  
 ニ來テ上海ノ海軍慰安所ノ給仕女ヲ世話シテ吳ト給料ハ  
 五六圓ナルモ「チップ」ノ收入カ多ク五六十圓ニ爲ルト  
 申シタル故私ハ之ヲ信シ 等ニ對シ松島章二ノ申

シタルト同様ノ事ヲ話シ同女等ヲ 方ニ同伴シタルト  
 コロ章二ハ同人等ニ私ニ話シタルト同様ノ事ヲ話シ且客  
 ヲ取ラヌトモ良キ旨申シ同人等ハ上海行ヲ承諾シタリ次  
 テ同月末頃私ハ 同様ノ事ヲ話シ上海行ヲ勸  
 メタルカ章二ヨリハ上海ニ於テ賣淫ヲ爲サシムルモノナ  
 リトノ話ハ全然聞キ居ラサリシ旨ノ記載

三

証人 二對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ  
 記録三一〇六丁裏以下)私ハ昭和七年三月半頃女中ヲ志  
 望シ豫テ知合ノ 二對シ其ノ旨皆ケテ仕事口ノ  
 周旋ヲ依頼シ置キタルトコロ其ノ後 カ上海ノ海軍慰

裁判用紙

裁判所

安所ニ勤メ女ヲ松島章ニヨリ頼マレ居ル女同所ニテハ食  
 事ノ給仕ヤ酒ノ酌ヲスル仕事ナル由ニテ月給ハ十圓位ナ  
 ルモ客ヨリノ賁物モアリ月五六十圓ニ爲ルト申シタルニ  
 依リ松島章二方ニ行キタルニ松島モ 同様ノ話ヲ爲

シ女中ニ雇フト申シタル故私ハ上海行ヲ承諾シタリ松島  
 ハ上海ニ於テ醜業ヲ爲サシムルトハ言ハサリシヲ以テ上  
 海ニ行キタルトコロ海軍慰安所ハ内地ニ於ケル話トハ全  
 然異リ客取リヲセネハ僅カ三十五圓ノ前借金カ支拂ヘヌ  
 爲遂ニ止ムナク客取リヲスルニ至リタル旨ノ記載

四

証人 二對スル豫審訊問調書中其ノ供述トシテ

記録三一二七丁以下一昭和七年四月初頃

方ニ

於テ同人カ私ニ對シ上海ノ藤田ノ家ヘ女中トシテ炊事ヤ  
洗濯スル仕事カアル故行カヌカ月給八十圓位ナルカ酌婦  
等ノ洗濯モスレハ十五圓位ニハ爲リ又客ヨリノ黄ヒモ有  
リ月五六十圓位ニ爲ルト申シタル故私ハ之ヲ信シ上海行  
ヲ承諾シタルカ賣淫ヲセネハナラヌト言フ話ハナク斯ル  
話カアレハ上海ニハ行カサリシ筈ナリシ旨ノ記載

五、 証人

ニ對スル囑託ニ依ル領事ノ訊問調査中其ノ

供述トシテ（記録三六五八丁裏以下）昭和七年四月初頃  
松島章二方ニ於テ兩人カ私ニ對シ上海ニ於ケル飲食店ノ

裁判用紙

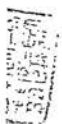
裁判所

女中ニ爲レハ同地ハ景氣亦良キ故五十圓位前後シテ行ク  
モノ一週間經過セヌ間ニ返済シ得ヘキ旨申シタルニ依リ本  
諸シテ上海ニ参リタルカ上海ニ行キ職業セネハナラヌト  
ノ話ハ全然無カリシ旨ノ記載

六、 証人

ニ對スル豫審訊問調査中其ノ供述トシテ（記

録三二七四丁以下）私ハ昭和七年四月一日藤田宅中ニ藏  
マレ 外四名ヲ連レ長崎港出帆ノ船ニテ上海ニ渡  
リタルカ（三二九八丁以下）其ノ際松島章二カ私ニ此ノ  
女等ハ適安所ノ女給トシテ送ルモノ故其ノ積リニテ連行  
カレ度ク若シ女等カ訊ネタルトキハ「女給ジヤ」ト申シ



テ吳レト耳打シタル旨ノ記載

ヲ綜合シテ之ヲ認メ

犯意繼續ノ點ハ判示被告人等カ短期間内ニ同種ノ行爲ヲ反覆  
累行シタル事蹟ニ徴シ明ナリ

左レハ如上説明ニ依リ判示犯罪事實ハ全部其ノ證明アリタル  
モノトス

法律ニ照スニ被告人等ノ所爲申誘拐ノ點ハ刑法第二百二十六  
條第一項第五十五條（但シ被告人春吉ニ對シテハ第五十五條  
ヲ適用セス）ニ被拐者帝國外移送ノ點ハ同條第一項第  
五十五條（但シ被告人春吉ニ對シテハ第五十五條ヲ適用セス



裁判用紙

裁判所

改 一字

加 七字  
九五

ニ各該當スルトコロ右ハ手段結果ノ關係アルヲ以テ同條第  
五十四條第一項後段第十條ニ照リ犯情重キ被拐者帝國外移送  
罪ノ刑ニ從ヒ尙被告人等ノ所爲ハ共犯ナルヲ以テ同法第六十  
條ヲ適用シ被告人春吉ニ對シテハ犯情誠諒スヘキモノアルヲ  
以テ同法第六十六條第七十一條第六十八條第三號ニ從ヒ酌量  
減輕ヲ爲シ各其ノ所定刑期範圍内ニ於テ被告人等ヲ主文第一  
項記載ノ刑ヲ量定處斷シ同法第二十一條ニ從ヒ原審ニ於ケル  
未決勾留日數ノ一部ヲ主文第二項記載ノ如ク各其ノ本刑ニ算  
入シ被告人春吉ニ對シテハ犯情刑ノ執行ヲ猶豫スルヲ相當ト  
認メ同法第二十五條ニ從ヒ本裁判確定ノ日ヨリ三年間刑ノ執

行ヲ猶豫シ訴訟費用ノ負擔ニ付刑事訴訟法第二百三十七條第  
二百三十八條ニ則リ被告人等ヲシテ主文掲記ノ如ク負擔セシ  
ムヘキモノトス  
仍テ主文ノ如ク判決ス

昭和十一年九月二十八日

長崎控訴院第一刑事部

裁判長判事 岩村流芳

判事 高田喜雄

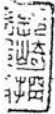
裁判用紙

裁判所

判事 島村廣治



半田親



裁判用紙

裁判所

岡崎 安太郎

本籍 住居 長崎縣

村上 富雄

本籍 熊本縣

住居 長崎市

無職

平成 14 年 10 月 7 日

これは抄本である。

平成 14 年 10 月 7 日

長崎地方檢察庁

檢察事務官 熊和幸



wam

アクティブ・ミュージアム  
女たちの戦争と平和資料館  
women's active museum  
on war and peace